

いずみ甲状腺検査会の実施について（新型肺炎予防対策のお知らせ）

新型肺炎について、予防や感染拡大対策、治療などのために医療や関係機関などでご対応されているみなさまへお礼申し上げます。

お亡くなりになられた方々にはお悔やみを申し上げます。また、感染された方々におきましてはご回復されますよう心よりお祈り申し上げます。

1月中旬以降、日本国内においても徐々に感染者数が増加しています。

この新型コロナウイルスによる感染症について、有効なお薬の開発や治療法が確立されていないこと。検査体制や医療現場での受け入れ態勢が十分に整えられていないことなど、不安材料があることが大変懸念されます。

既に、学校の臨時休校をはじめ、さまざまな催しなどが中止される動きが広がっています。

「いずみ」におきましても3月14日の栗原市内での検査会実施について開催するかどうか検討しております。

この案件について、現段階においての「いずみ」の認識、考え方を知っていただきたく、以下、まとめさせていただきました。お忙しいところかと存じますが、どうぞご覧いただけましたら幸いです。

現在、報道等、また、医師からの情報を総合すると、私たちが把握していることは以下のとおりです。
(2020年2月26日時点)

- ① 新型コロナウイルスの感染力はインフルエンザと同程度で、感染経路は飛沫感染と接触感染。
- ② 一部の患者さん（特に高齢者や基礎疾患を有する方）が重症化する可能性（傾向）がある。
- ③ 致死率はSARSやMERSに比べて低い。

*②について・・・中国では感染者の約8割は軽症。

*③について・・・致死率はSARS 約10%, MERS 約35%, インフルエンザ 0.1%,
新型コロナウイルス 約2%(一番死亡者が多い中国でも現時点で3.4%)

問題点としては

1. 検査法が普及していない
(インフルエンザのように簡易な検査キットがなく、検査できる機関が限定されている。)
2. 治療法がまだわからない(確立されていない)

(インフルエンザでは抗ウイルス薬で治療が可能。新型コロナウイルスでは動物実験などで有効な薬剤は確認されているが、ヒトに対して有効な治療方法を捜しているところ。)

以上、厚労省による情報提供をはじめ、これまでの知見によると、感染力はインフルエンザと同等程度であること(ただ、密室的な環境下における過密、長時間滞在は感染可能性が高まると推察されます)。また、この間、②のように、日本においても感染したものの、軽症で回復されている方も少なくないようです。ただし、重症化しやすい、ご高齢者や、基礎疾患をお持ちの方についてはより慎重な対応が必要である、ということがわかってきています。

以上から、感染リスクを低下する対策を十分に整えた状態(環境)ではリスクを大幅に低減できるのではないかと検討いたしました。

「いずみ」の甲状腺検査会におきましては、小児や若年者を中心とした無症状者(健康な方)への検査、かつ、希望者への小規模な予約制検査会です。感染症対策が講じられた長時間滞留しない会場において、感染リスクを極めて低くできるように考察を重ねました。

「いずみ」では上記の点に留意し、検査会では以下のように十分な感染予防対策を実施いたします。

1. 手洗い、手指消毒へのご協力お願い(消毒用アルコールをご用意します)
 2. マスク着用へのご協力お願い(マスクをお持ちでない方には会場にてご提供します)
 3. 検査会場の換気に十分配慮します
 4. 検査規模については縮小し、スムーズに検査を受けられるよう配慮します
 5. 共有備品についてはアルコール清拭を行います
 6. 体調がいつもと違うときは慎重に対応していただくよう呼びかけます
- (当日、体調不良の場合、スタッフ・受検者はお休みしていただくことをお願いするものです)

私たちの検査会は希望者を対象としたものであり、強制参加ではございません。受検者さまには上記対策をお伝えし、ご理解いただいた上で検査機会を提供いたします。みなさまのご理解、ご支援をどうかよろしく願い申し上げます。

※現時点においては以上ですが、今後、大きな状況変化があった場合など、検査会を中止する可能性もございます。引き続き状況を慎重に見まもって参ります。

2020年3月3日

日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ



【参照資料】

○厚生労働者サイトより https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

1. 新型コロナウイルス感染症の現時点で把握している特徴【2月25日時点】

<感染の仕方>

飛沫感染：感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

接触感染：感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

<感染力>

感染力は事例によって様々です。一部に、特定の方から多くの人に感染したと疑われる事例がある一方で、多くの事例では感染者は周囲の人にほとんど感染させていません。

2. 他、厚労省による情報提供

新型コロナウイルス Q&A（2020年2月22日時点版）

<https://www.cas.go.jp/jp/influenza/pdf/faq.pdf>

新型コロナウイルスに関する Q&A（一般の方向け）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#top

帰国者・接触者相談センター（2020年2月13日時点版）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html

厚生労働省相談窓口

電話番号 0120-565653（フリーダイヤル） 受付時間 9時～21時（土日・祝日も対応）

○報道より

WHO（世界保健機関）による疫学調査発表に関して

WHO「新型ウイルスはSARSほど致命的でない」

（NHK NEWS WEB 2020年2月18日 16時15分）

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200218/k10012290221000.html>

致死率SARSより低い2% 新型肺炎、軽症8割

（信濃毎日新聞 web ニュース 2020年2月18日 11時05分）

<https://www.shinmai.co.jp/news/world/article.php?date=20200218&id=2020021801001170>